

南部中学校区 運営協議会だより

第21号
令和2年3月発行
南部中学校区運営協議会
〈事務局〉南部中

各学校での活動について紹介します。

南部中学校区の各学校（大志小・向山小・浅野小・富士小・南部中）では、学校、保護者、地域の皆さんと連携しながら子どもたちの健やかな成長をめざし、各学校で様々な活動を行っています。今回の学校運営協議会だよりは、南部中学校区の小中学校がどんな活動をしているかを紹介します。

向山小学校の取り組み

向山小学校の教育目標は、よく考え進んで学ぶ子、仲良くきまり正しい子、丈夫でたくましい子を育てることです。その目標の実現に向け、3学期に活動した事例を紹介します。



【展覧会の様子】

〈展覧会〉

1月25日（土）の展覧会には、多くの保護者や地域の方が観覧してくださいました。子どもたちが2学期から丁寧に作り上げてきた、絵画や立体作品などを熱心にご覧いただきました。「子どもたちのアイデアが素晴らしい。」「今年の作品は今までで一番いいね。」などお褒めの言葉をいただき、子どもたちもとてもうれしそうでした。

〈親子歯みがき教室〉

1月30日（木）「親子歯みがき教室」を開催しました。みがき残しが多いところはどこか、親子で確認をした後、歯科衛生士さんに正しい歯みがきの仕方を教えていただきました。「これからも食事の後は忘れずに歯みがきをします。」「お母さんに手伝ってもらってきれいに磨けました。」などの感想が聞かれました。これからはしっかり歯みがきをして健康な毎日を過ごしましょう！



【親子歯みがき教室の様子】



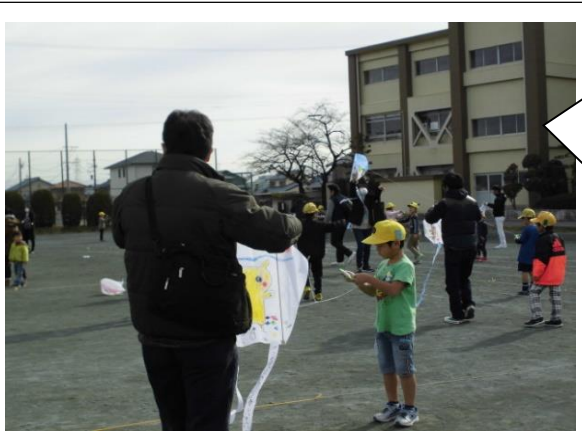
＜南部中学区健全育成会講演会＞南部中学校

1月21日（火）に南部中学校 PTA 保健委員会と南部中学校区健全育成会と合同で、落語家の林家花丸師匠を講師にお招きし、講演会を行いました。

落語「時うどん」を披露していただき、落語のおもしろさを味わいました。また、講演では命の大切さについて、ご自身の経験談をお話していただきました。生徒や保護者の方々、地域の皆さんから大変好評でした。

＜いのちの授業「きせきの命」＞大志小学校

2月の学校公開日、2・5年生とその保護者を対象に助産師グループOHANAの皆さんに、いのちの授業をしていただきました。赤ちゃんがお母さんのお腹の中でいかに大切に守られて育ち、小さな体で一生懸命産まれてこようと頑張っていること、産んでくれた親への感謝の気持ちなどを、子どもたちは感想に綴っていました。自分自身も周りの人も大切にできる優しくて素敵な人になってほしいという願いが、子どもたちの心に届いていると感じました。



＜親子で凧あげ＞

浅野小学校

1月25日（土）の学校公開で、1年生は保護者と、凧あげを楽しみました。教室で凧に親子で絵をかいたり、しっぽをつけたりし完成させてから、運動場で凧あげです。冬の青空に、舞い上がる手作りの凧を笑顔で見上げ、「うわっ」という歓声や、「もっと高く、もっと高く」という明るい声が運動場に広がりました。また、6年生は地域の方をお迎えして、「日本のすばらしさ」についてお話をしていただきました。

＜学習発表会＞

富士小学校

1月25日（土）「学習発表会」を開催しました。2・3・5年生は、図工の作品や総合的な学習の時間のまとめ、作成した新聞を渡り廊下に展示しました。個性あふれる作品や、分かりやすい説明が目を引きました。教室では、かしのみ学級が歌や踊りを披露し、1年生はお店屋さんを参観者と楽しみました。屋内運動場では、4年生が2分の1成人式で成長へのステップを上がり、6年生が豊かに表現した詩の群読や歌を発表しました。



